

栃木県眼科医会理事会だより（平成24年第1回）

出席：原(裕)会長、旭、吉沢(徹)副会長、大久保(彰)、大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋(雄)、
齊藤(哲)、堤、安藤、蘇、小幡、大沼理事、宮下監事、齊藤(武)、妹尾顧問 計20名

欠席：石崎、早津(宏)、牧野、松島(博)理事、鈴木(隆)監事、早津(尚)、稲葉(光)、田口、柏瀬、川島、
佐藤顧問 計11名

日 時：平成24年5月16日（水） 午後7時

場 所：宇都宮市医師会館

吉沢副会長の開会の言葉に続き、先日ご逝去された獨協医科大学の寺田先生に、理事会一同が哀悼の意を込めて黙祷を捧げた。

《会長挨拶》

本日はお忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。今日も議題が非常に多く、皆様のご意見をいただく事柄も多くなると思いますのでよろしく願いいたします。

《総務》

報告：1. 平成24年度第1回日眼医定例代議員会、定例総会出席報告(4月14日(土)15日(日)キャピトル東急ホテル)

原会長より報告 「公益法人となって初めての定例代議員会でした。代議員は法人を構成する社員として参加しました。高野会長の挨拶では『①情報の共有化について。②東日本大震災の義援金・日本版のビジョンバンについて。③公的な成人の目の検診プログラムについて。』などの項目に言及されました。診療報酬改定については、かなり努力して下げ幅を抑えることに成功したが、2年後もまた厳しいものになるだろうとのことでした。」

2. 平成24年度栃眼医総会開催報告(4月15日(日)自治医大)

旭副会長より報告 出席 95名 委任状 24名

3. 代議員会総務・経理合同常任委員会出席報告(4月22日(日)日眼医事務所)

原会長より報告 委員の構成は12名

公益法人に相応しい経理を念頭に予算案を作る

WOC 2014 への参加誘導

診療報酬早見表の配布

目の健康を守る 3Dと上手に付き合うには

まつげのエクステンションに伴う問題

度量衡「mmHg」の継続使用について

4. 栃木県眼科医会会則第1条・第12条の改訂の件

公益法人化に対応すべく名称の変更、先の総会で承認されたことについて報告

5. 平成23年度物故会員調査

該当者無し、と事務局より回答。

6. 「都道府県眼科会における『日本眼科医会入会・移動・退会手続き』のガイドライン」日眼医より送付(4月4日(水))

日眼医事務局から確認のメール。当会の入会・転入の手続きを確認し、訂正した。

7. 「『平成24年度各種補助事業』と日眼医から各都道府県眼科医会会長・ブロック長宛への通知予定一覧」日眼医より送付(4月17日(火))

例年通りの事業内容であった。

8. 寺田理先生(獨協医大)が4月9日(月)ご逝去。

会員へFAX連絡。当会より香典、供花、弔電。

9. 「都道府県眼科医会会長意見書」日眼医より送付

日眼医が公益社団法人に移行したので、新しい書式が送信されてきた。今後は、これを使用する。

10. 会員の異動

退会 : B 寺田 理 (獨協医大眼科)

自宅住所変更 : B 半田益子 (上都賀総合病院眼科)

協議 : 1. 平成24年度第2回日眼医定例代議員会、定例総会出席者と提出議題(6月24日(日)東京プリンスホテル)

原会長・吉沢副会長が出席 議題を検討。

今後、コンタクトレンズの処方の方針について検討していく。

2. 平成 24 年度第 1 回関プロ支部長会議、連絡協議会の出席者と提出議題について(5 月 26 日(土)横浜市、ホテルキャメロットジャパン)

原会長、吉沢副会長、宮下監事 が出席

各県の眼科医会総会の日程を参考までに確認。日眼医総会との関連。

3. 平成24年度関プロ男女共同参画委員会出席者と提出議題について(5月26日(土)横浜市、ホテルキャメロットジャパン)

安藤理事、早津(宏)理事 が出席

4. 規約・細則等の整備と栃眼医役員任期期間について

①日眼代議員選挙の選挙管理委員会制定について規約に入れる

②栃眼医総会の議長 今まで会長が兼務していたが専任の議長を立てる

③一次救急の当番表。入退会の会員の順番を決める細則を整備する

④役員任期について 現在日眼医役員と栃眼医役員の任期が1年間ずれている
任期変更については、理事会等で継続審議とする

5. 入会(転入、開業を含む)希望者について

転入： B 三井 恭子 (のうか眼科) 東京都より

B 細井 文子 (のうか眼科) 東京都より

B 高橋 秀徳 (自治医科大学眼科) 東京都より

B 井上 直紀 (大田原市 井上眼科医院) 東京都より

入会： C 吉澤 哲也 (獨協医大眼科)

C 新井 悠介 (自治医大眼科)

C 渡辺 芽里 (自治医大眼科)

開業：B→A 有澤 武士(佐野市に「ありさわ眼科クリニック」を新規開業)

〒327-0843 佐野市堀米町 3956-3

6. 日眼医より送付の「平成 24 年度表彰対象者」の件

当会では、山川高子先生が会長表彰対象者(高齢者対象者)

《経 理》

報告：1. 栃木県アイバンク協力募金箱集計報告

合計 30 施設から 451,028円の寄付があった

2. 第63回栃木県眼科集談会収支報告

参加者リストと会費集計に誤差があった。確認中です。

協議：1. 本年度眼医会費等の徴収について

5月末に文書を発送。振替は6月中旬。

2. 宇都宮市医師会から案内のあった「平成 24 年度地域医療に係る県民協働事業における助成団体」の応募について

県の事業：昨年通り目の愛護デー関連行事で申請

3. コピー機（事務局設置）のリース契約の更新について

再リースを承認された

《学 術》

報告：1. 平成 24 年度栃木県医学会会誌投稿について

栃眼医関連セミナー、学会等を掲載

2. 第 63 回栃木県眼科集談会開催の件(4 月 15 日(日)自治医大)

参加 98 名

一般演題 9 題

特別講演 「医事関係紛争から考えるべき医療の姿」

三宅坂総合法律事務所 水沼太郎 先生

3. 栃木県ドライアイの集い（5月25日(金)）

「マイボーム腺機能不全（MGD）について」

座長 妹尾 正 先生 演者 千葉 桂三 先生

「ドライアイのすべて - 基礎から臨床まで」

座長 川島 秀俊 先生 演者 小幡 博人 先生

4. 第 20 回栃木眼科セミナーの件(自治医大、興和創薬共催、当会后援)

次回の開催：調整中

5. 日眼医から送付の第 64 回生涯教育講座ポスターの件

日眼医の HP（会員ページ）からダウンロードできる。

6. 第 52 回総合医学会について(6 月 10 日(日))

栃木県医師会より手紙とポスター送付

7. 第30回日本眼腫瘍学会の件

「第30回日本眼腫瘍学会事前登録のお願い」を会員に送付

協議：1. 第 47 回栃眼医研究会の開催の件(千寿製薬と共催 6 月 22 日(金) 宇都宮グランドホテル)

「ぶどう膜炎診療のこれまで～レミケード以前」 川島 英俊 先生

「ぶどう膜炎診療のこれから～レミケード以降」 蕪城 俊克 先生

2. 第 64 回栃木県眼科集談会の開催について

10 月 12 日(金) 予定

3. 第 34 回獨協医大栃眼医合同講演会の件

7 月 20 日(金) 予定

《医療安全対策及び福祉》

報告：1. 平成 24 年度コメディカル講習会の件(第 4 回 4 月 15 日(日)、第 5 回 5 月 13 日(帝京大学))

17 名中 16 名が修了書をもたらえる予定

2. 第 76 回栃眼医親睦ゴルフコンペについて(5 月 13 日(日)太平洋アソシエイツ佐野ヒルクルストコース)

Dr7 名 合計 12 名参加

協議：1. クーパービジョン・ジャパン コンタクトセミナーの件

県眼科医会の後援を頂きたいと要請あり 承認する。

2. 第 14 回全日本眼科医ゴルフ選手権大会参加者推薦の件(9 月 16 日(日) 紫雲ゴルフクラブ(新潟県))

当会からは、斉藤信一郎先生を推薦する。

《保 険》

- 報告： 1. 平成 24 年度第 1 回健保研究会の件（4 月 15 日（日）自治医大）
総会に続き開催
2. 平成 24 年度第 1 回関東甲信越地区眼科医会連合会連絡協議会各種委員会の議題及びアンケートの送付、回答について
井岡理事が回答。
3. 「薬価基準の追補記載について」日眼医より送付（4 月 2 日（月）、4 月 17 日（火））

- 協議： 1. 『平成 24 年度眼科診療実態調査』一般病院の定点推薦のお願い」日眼医より送付
（4 月 5 日（木））
今まで開業医が対象だった。今回一般病院も調査対象になる。
足利日赤 眼科 済生会病院 眼科 の 2 施設を推薦
2. 平成24年度第 1 回関東甲信越地区眼科医会連合会連絡協議会各種委員会の出席者と提出
議題について（5月26日（土）横浜市、ホテルキャメロットジャパン）
千葉先生が出席
3. 全国審査委員連絡協議会（5 月 27 日（日）東京プリンスホテル）
旭先生が出席
会員からの保険に関する質問を事務局で集めるシステムを構築する。
4. 白内障手術の術前検査 採血検査と結膜囊細菌培養の取り扱いについて

《広 報》

- 報告： 1. 栃眼医会報 45 号目次について
会報の編集にあたってご協力をお願いします。

- 協議： 1. 会報編集委員会について

《学校保健》

報告：1. 第1回栃木県医師会学校保健部会出席報告（4月26日(木)栃木県医師会館）
苗加理事より報告

報告：2. 日眼医より依頼の「学校現場におけるコンタクトレンズ実態調査の対象校」について
小・中・高 各1校（西が丘小 国本中 宇都宮女子高）

《公衆衛生》

報告：1. 「目の愛護デー」開催進捗状況(10月14日(日))
目の健康講座 講師 国際医療福祉大学 新井田先生

2. 地域医療に係わる県民協働事業費補助金交付申請の件
経理のところでも報告。昨年通り申請。

3. 平成24年度JRPS医療講演、相談会への講師の件（9月16日(日)）
さくら眼科クリニック 大塚先生 に依頼

4. 「糖尿病眼手帳に関する周知のお願い」 日眼医より送付(4月6日(金))
会員へ連絡 サイズが少し大きくなる

5. 平成24年度「目の愛護デー」スローガン及びポスターの件
必要枚数 130枚と連絡済。

協議：1. 「目の愛護デー」相談員選出の件
茨木信博先生 関本慎一郎先生 橋本尚子先生（原眼科）
もう1名を早急に決定

2. 次期眼科一次救急診療の当番について
昨年10月10日から本年11月5日までの順序をずらさず次の当番に充てる。
6月に会員に送付。

《医療対策》

報告：1. 平成24年度栃木県CL販売管理者継続研修会講師について(とちぎ健康の森 12月9

日(日) PM14:00~16:00)

講師 日大 稲田先生

《勤務医》

協議：1. 第17回栃木県眼科手術談話会の件(5月18日(金)宇都宮医師会館)

一般演題 3題

特別講演 「白内障手術の難治症例への対処法について」

東京大学眼科 永原 幸 先生

2. 平成24年度関ブロ勤務医委員会出席者と提出議題について(5月26日(土)横浜市、ホテル
キャメロットジャパン)

上田理事が出席

《日眼医連盟》

報告：1. 「日眼医連盟委員会平成24年第4回連盟委員会摘録」日眼医連盟より送付(5月9日
(水))

加入者が激減している 前年度比28%

啓蒙してご加入いただきたい

《その他》

次回の理事会は7月18日(水)に開催する。

(福島一哉 記)